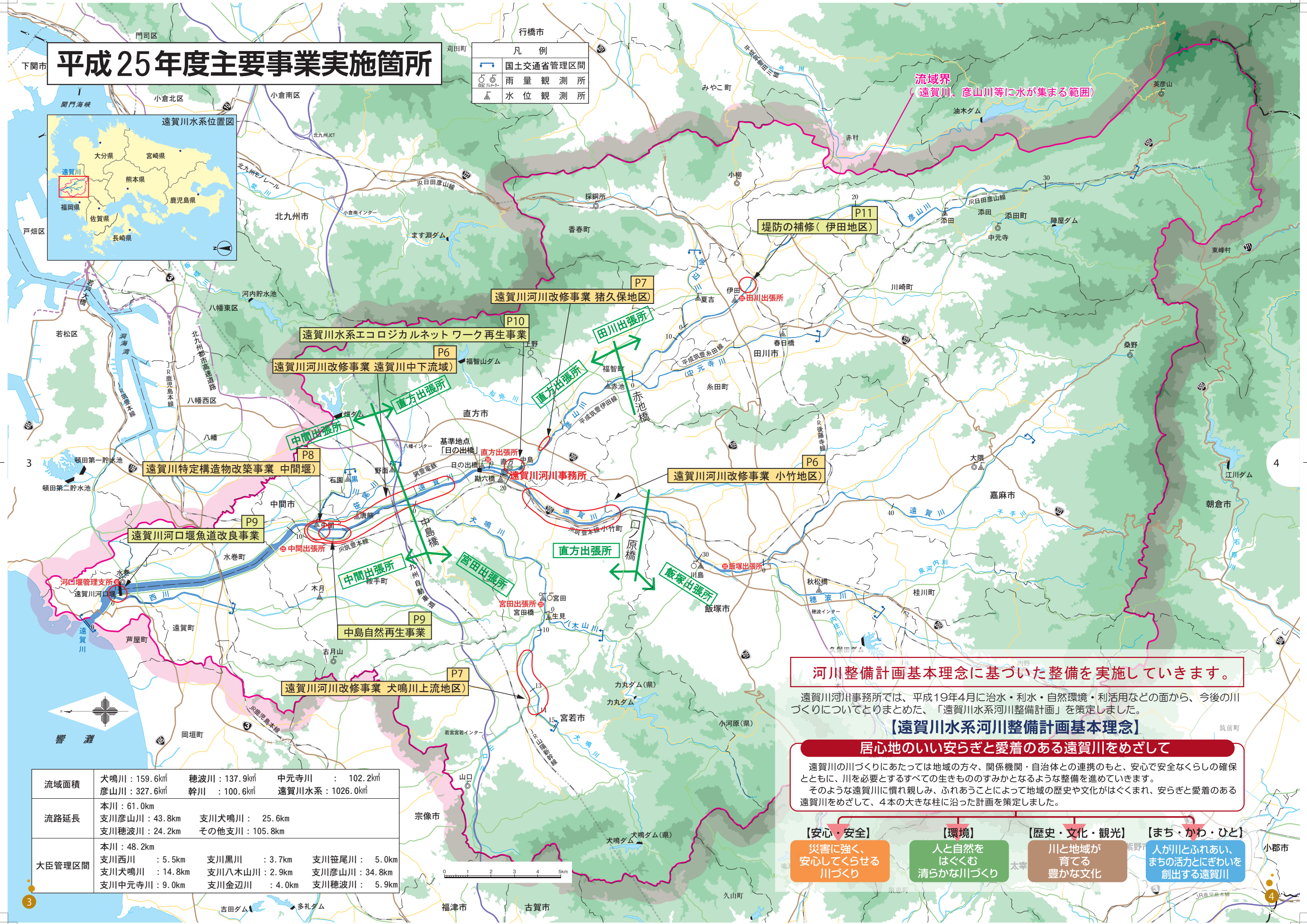


平成25年度主要事業実施箇所

	国土交通省管理区間
	雨量観測所
	水位観測所



流域面積	犬鳴川: 159.6km ²	穂波川: 137.9km ²	中元寺川: 102.2km ²
	彦山川: 327.6km ²	幹川: 100.6km ²	遠賀川水系: 1026.0km ²
流路延長	本川: 61.0km	支川彦山川: 43.8km	支川犬鳴川: 25.6km
		支川穂波川: 24.2km	その他支川: 105.8km
大臣管理区間	本川: 48.2km	支川西川: 5.5km	支川黒川: 3.7km
		支川犬鳴川: 14.8km	支川八木山川: 2.9km
		支川中元寺川: 9.0km	支川金辺川: 4.0km
			支川笹尾川: 5.0km
			支川彦山川: 34.8km
			支川穂波川: 5.9km

河川整備計画基本理念に基づいた整備を実施していきます。

遠賀川河川事務所では、平成19年4月に治水・利水・自然環境・利活用などの面から、今後の川づくりについてとりまとめた、「遠賀川水系河川整備計画」を策定しました。

【遠賀川水系河川整備計画基本理念】

居心地のいい安らぎと愛着のある遠賀川をめざして

遠賀川の川づくりにあたっては地域の方々、関係機関・自治体との連携のもと、安心で安全な暮らしの確保とともに、川を必要とするすべての生きものすみかとなるような整備を進めていきます。そのような遠賀川に慣れ親しみ、ふれあうことによって地域の歴史や文化がはぐくまれ、安らぎと愛着のある遠賀川をめざして、4本の大きな柱に沿った計画を策定しました。

【安心・安全】 災害に強く、安心してくらせる川づくり	【環境】 人と自然をはぐくむ清らかな川づくり	【歴史・文化・観光】 川と地域が育てる豊かな文化	【まち・かわ・ひと】 人が川とふれあい、まちの活力とにぎわいを創出する遠賀川
--------------------------------------	----------------------------------	------------------------------------	--

事業実施による被害軽減効果 (飯塚・穂波地区)

● 河道掘削、排水ポンプ場の設置、橋梁架替などによって、浸水被害の軽減を図っています。

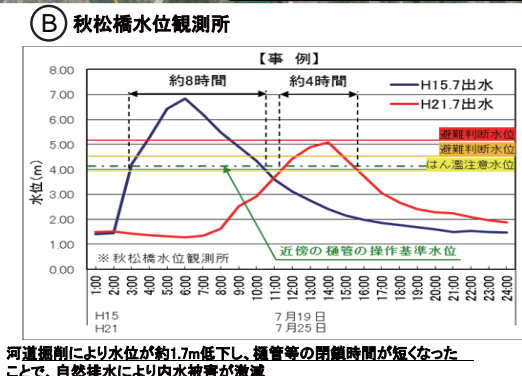
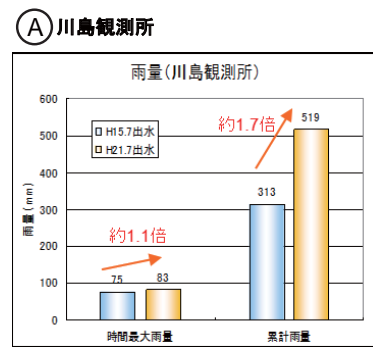
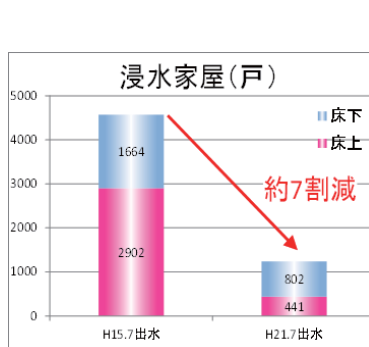
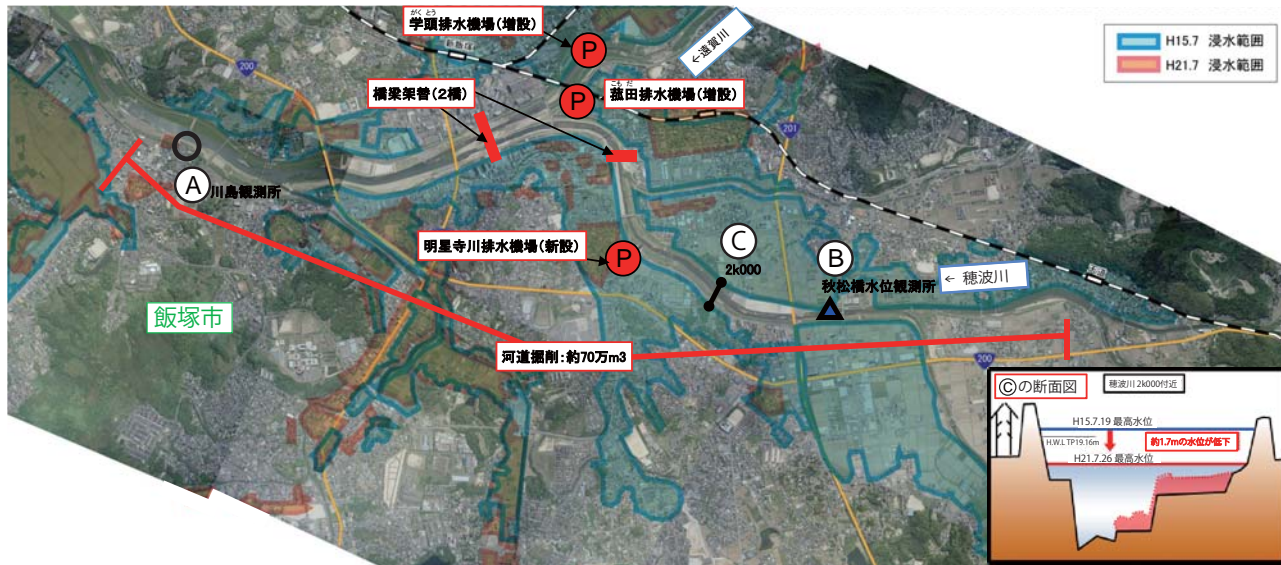
平成15年7月豪雨による被害を受けて、河道掘削、排水ポンプ場の設置(新設3カ所、増設2カ所)、橋梁の架替(2橋)等を実施。

平成21年7月豪雨による出水では、同規模程度の出水であった平成15年7月洪水と比較し、飯塚・穂波地区において約3,400戸の家屋の浸水被害が軽減されました。



平成15年7月出水

平成15年7月の集中豪雨により遠賀川水系では甚大な浸水被害が発生しました。



遠賀川河川改修事業[遠賀川中下流地区]

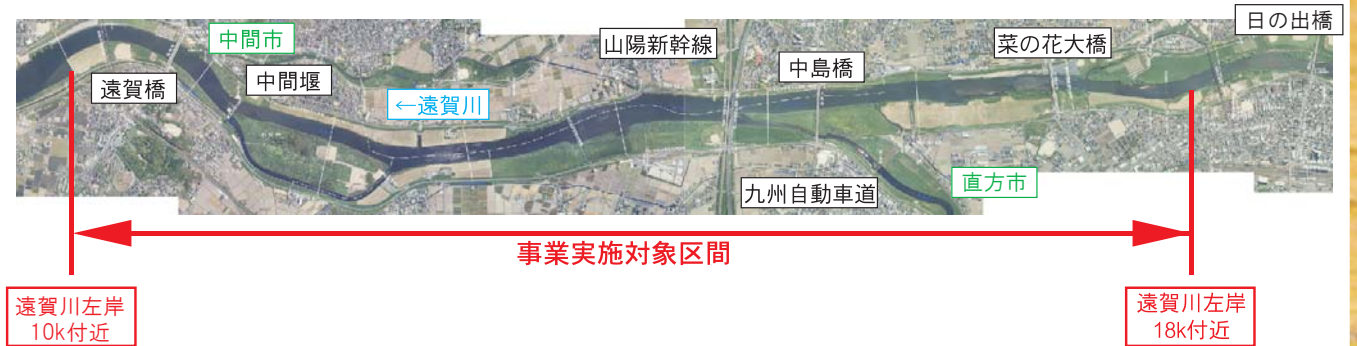
河道掘削による洪水被害の軽減

● 遠賀川の河道掘削によって洪水の安全な流下と浸水被害の軽減を図ります。

近年発生した豪雨において、遠賀川の日の出橋水位観測所では、たびたびはん濫危険水位(堤防の決壊など重大な発生のおそれがある水位)を上回っていることから、それらの洪水をより低い水位で安全に流せるようにするため、河道掘削を行い、洪水を流す断面を拡げていきます。その際、併せて中間堰の改築を行う必要があります。



H21.7月 出水 直方市浸水状況



遠賀川河川改修事業[小竹地区]

堤防整備による洪水被害の軽減

● 堤防高さの低い一連区間の堤防整備を実施します。

小竹地区では、平成21年7月の豪雨により、JR、工業団地及び町立病院の周辺道路が冠水して、アクセスが遮断されるなどの被害が発生しました。

当該地区では、堤防の上端まであと約60cmというところまで水位が上昇したことから、堤防の高さが不足する区間の堤防整備を行い、頻発する豪雨災害に備えます。



H21.7月 小竹町付近の浸水状況(小竹町町立病院付近)

